

town topics

まちの話題

このコーナーは、町の話や活動などを紹介しています。情報があれば、市役所秘書広報課まで。

☎ 22・3111 内線 207



▲カブトムシの幼虫に興味津津の子どもたち

5/2 来館者が15万人を突破

旧来住家住宅



▲齋藤太紀雄西脇商工会議所会頭からオーダーシャツを贈呈

平成15年5月から一般公開されている国の有形登録文化財「旧来住家住宅」の入館者が15万人を突破し、記念式典が開催されました。

15万人目の入館者となった高島やよいさんは多可町出身で金沢市在住。高島さんには播州織のオーダーシャツや播州織の生地で作った花束がプレゼントされました。



▲新聞紙でかぶと折りに挑戦

5/3 カブトムシの幼虫に大喜び

北はりま旬菜館

北はりま旬菜館で「こどもの日フェア」が開催。店内には大きな鯉のぼりが飾られました。

先着100人にカブトムシの幼虫がプレゼントされるとあってオープンと同時に親子連れでにぎわいました。また、北はりま旬菜館出荷者協議会のメンバーが、たけのご飯ややきとりなどを振舞いました。

5/3 飛田安兵衛翁の功績を称えて

岡之山公園



▲護摩供養で地域の発展、まちの安全を祈る

播州織の技法を伝えたと言われる飛田安兵衛翁の功績を称える「岡の山まつり」が開催されました。顕彰祭に続く護摩供養では、地域の発展やまちの安全を祈願しました。

また公園内では、西脇東中学校音楽部の生徒たちによる演奏や餅まきなども行われました。



▲太陽を見上げる参加者たち



▲部分日食の最大食

日本列島の広範囲で25年ぶりに金環日食が観測された5月21日に、岡之山公園で観望会が開催されました。市内では部分日食でしたが世紀の天文ショーに、早朝から300人を超える方が参加。日食グラスなどで欠けていく太陽を熱心に見つめていました。最大食は午前7時半ごろで太陽の93%が欠けました。次に市内では300年後です。

5/21 太陽の93%が欠ける大部分日食

岡之山公園

5/11 引き続き臨床研修医を応援

西脇病院



▲研修医に「へその街にしわき共通商品券」を贈呈

西脇市商業連合会が「にしわき市民生活応援券」の売上の一部で「西脇病院応援基金」を設置し今年で3年目。これまでに80万円を積み立て、今回20万円を増額しました。新任研修医6人には、この基金から研修支援として、市商連の長谷川久三会長が「へその街にしわき共通商品券」を1人5万円分贈呈。研修医からは「早く一人前になって、地域の皆さんにお返ししたい」とお礼を述べました。



▲思い思いの色で作品をペイント

5/4 木や枝を使って造形遊び

岡之山美術館、テラ・ドーム

テラ・ドームと岡之山美術館の共同企画「子どもの日ワークショップ」に40人の子どもが参加しました。

へそ公園で集めた小枝や葉、木の実などを材料に、使いたない電動ドリルやのこぎりなどの道具は大人の手を借りてオリジナルの作品を制作しました。材料の自然な形を生かした作品は、仕上げにペイントし世界に一つだけの作品が完成しました。

5/13 100えん商店街で地域を活性化

しばざくら通り



▲にぎわうしばざくら通り

西脇しばざくら通り商店会協同組合主催の「100えん商店街」が開催されました。地域活性化を目的に今回で3回目。

100円でお得な商品が買えるとあって、朝10時から多くの市民がスタンプラリーやゲーム、買い物を楽しみました。また、「はばタン」や「にっしー」などのキャラクターも登場し子どもたちは大喜びでした。

4/29 頼政公をしのんで

高松町・長明寺



▲的をめがけて弓を引く兵庫教育大の学生

源頼政公の墓がある高松町の長明寺で、第33回頼政祭が開催されました。平安時代の武将である頼政公は、弓の名手であり、優れた歌人としても有名。墓所参拝に続いて平家物語に記述のある「物の怪ヌエ」を射止めたという伝説にちなんだ弓の礼射、詩吟などが披露されました。

また、会場内には「にっしー」や「加東伝の助」も登場し、祭りを盛り上げました。